

本研究会は、横浜市内の「ものづくり産業」の基盤である「金属加工」を対象として、加工の高付加価値化や技能継承の効率化、技術課題の解決、人脈づくりなどを図るという、実務に役立つ活動を展開することで企業の競争力を高めて頂くことを目的としています。

本年度の講演では、先端加工技術の研究・開発者や発明者、加工上の難問を解決した実績のある技術者や経営者を「加工の語り部」として、他では聽けない「とっておきの加工ノウハウ」や「成功の秘訣」、「失敗の教訓」などをお話を頂きますので、ご期待ください。横浜・京浜地域の金属加工関連企業、ものづくり中小企業の経営者・後継者、従業員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

第2回

# 横浜・金属加工研究会

2012

## ① レーザ微細加工の基礎から最新の動向まで

■講演① 15:00~16:00



埼玉大学大学院  
理工学研究科 教授  
池野 順一氏

## &lt;トピックス&gt;

- ①異種金属材料のレーザ接合
- ②サファイアやシリコン  
ウエハのレーザスライシング
- ③硬脆材料への3次元穴あけ
- ④レーザカラーマーキング

## &lt;概要&gt;

レーザ光の発振原理からレーザ加工の基礎、最新動向をわかりやすく解説します。また、埼玉大学が開発を進めているレーザ加工技術について紹介します。従来、機械加工でしかできなかったものを、レーザ加工に置き換え、格段に機能性を向上させることを目指しています。

## ② 超音波振動援用加工法による高精度加工技術

■講演② 16:20~17:20

## &lt;概要&gt;

最近超音波を援用した加工技術が、高精度・微細加工の要求に応えることが可能な技術の一つとして再び注目を集めつつあり、国内外から問い合わせが増えています。

そこで、各種超音波援用加工機器の中で主に「超音波橋円振動切削装置」「高脆材加工用超音波ドリル装置」「キャビテーション援用加工装置」についての動作原理の概要とその応用事例、今後の展望について説明します。

## &lt;トピックス&gt;

- ①超音波振動制御の重要性
- ②振動切削による高・超精密  
加工事例、適用例
- ③超音波ドリルやキャビテーション  
援用装置による加工事例
- ④超音波ドリルと、キャビテーション  
援用装置の違い



多賀電気株式会社  
取締役部長  
浜田 晴司氏

【日 時】 : 平成24年8月23日(木)

15:00~17:30

【会 場】 : 横浜企業経営支援財団 大会議室  
横浜市中区太田町2-23(横浜メモリアルセンター7F)

【参加費】 : 2,000円/1名(当日会場で申し受けます)

● 主催 (公財)横浜企業経営支援財団

## ★お問合せ先★

経営支援部技術支援課

TEL:045-225-3733

FAX:045-225-3738

<http://www.idec.or.jp>★HPからも、  
お申し込みできます★

## ■第2回横浜・金属加工研究会 参加申込書■

氏名 (ふりがな)

所属・役職名

企業名

事業内容

所在地〒

TEL

FAX

E-Mail



横浜型地域貢献企業 (□にチェックをつけてください) ※認定企業は参加費が半額となります